

授業科目名/Subject
国際社会学入門

学科区分/Department	学年/Year	形態/Term	単位/Credits	カリキュラム Curriculum	クラス/担当者 Class/Instructor
国際関係学科 国際文化学科 国際交流学科 国際ビジネス情報 学科	1	半期	2	新	服部 慶巨

■ 授業概要 / Outline

授業のテーマ/Overall Theme for Course
異文化理解と民際関係の社会学

授業のねらい/Goal
「国民国家」という枠組みでは説明しきれない現代社会を、グローバル且つトランスナショナル的に考察する視点を身に付けることを目標とする。また、その考察を行う際に問題となる(であろう)点についても比較・検討する。

授業の方法/Content
まず、国際社会学という学問の性格を理解し、その学問的性格に基づきながら異文化理解と民際関係の構造・機能などについて考察する。なお、具体的な事例として受講学生にとって身近な例を取り上げつつ、日本と諸外国(特に、担当者の専門とする日韓関係)との比較・検討を試みる。参考書やプリント、視聴覚資料などを用い、理解の助けとする。様々なメディアを通じて得られる情報を、随時紹介する。

■ 授業計画 / Teaching Plan

- 第1回 シラバス授業(講義の方針、展開方法、基礎概念、目標などの確認)
- 第2回 国際社会学とは?
- 第3回 海外研究の問題点
- 第4回 国際関係と民際関係(1)
- 第5回 国際関係と民際関係(2)
- 第6回 グローバリゼーションと温度差(1)
- 第7回 グローバリゼーションと温度差(2)
- 第8回 グローバリゼーションと温度差(3)
- 第9回 グローバリゼーションと温度差(4)
- 第10回 社会変動および文化交流に見られる温度差
- 第11回 文化交流・接触の効果(1)
- 第12回 文化交流・接触の効果(2)
- 第13回 文化交流・接触の効果(3)
- 第14回 文化交流・接触の効果(4)
- 第15回 まとめ

■ 教材 / Teaching Materials

教科書/Textbooks

開講時に指示する / Announced during the first class meeting

必携参考書/Required reference books

著者名/Authors	服部 慶巨
書名/Title of books	補強版ストレス・スパイラル 悩める時代の社会学
出版社/Publishers	人間の科学社
ISBN	ISBN4822602389
備考/Notes	

推薦参考書/Recommended reference books

なし / Nothing

■ 履修条件 / Prerequisites

単一的(主観的)な視点ではなく、客観的な分析・発言の可能な学生の参加を希望する。例年、この科目は履修希望者が多く、教室の秩序維持が困難となることもあるため、状況によっては履修制限をかけることもある。また、義務ではないが「社会学」を履修していることが望ましい。

■ 成績評価 / Evaluation

終講試験と平常点で評価する。

■ その他 / Others

履修学生の興味・関心事が講義内容に反映されるので、講義には積極的に「参加」してほしい。講義連絡などにWebCT (<http://webct.ir.nihon-u.ac.jp:8900/>)を使用する。

■ 連絡先 / Contact Information

服部 慶巨